

専門科目 疫学・生物統計学分野

(博士後期課程)

| | | | | |
|-----|-------------|--------------------------|----|------|
| 科目名 | 社会調査データ解析特論 | code number : BIO 341 | 選択 | 1 単位 |
|-----|-------------|--------------------------|----|------|

| | | | | | | | |
|-------|---------|------|--------|-------|--------|------|----|
| 科目責任者 | 宮田 敏 教授 | | | | | | |
| 配当年次 | 1・2年次 | 配当学期 | 前期(前半) | 曜日・時限 | 火曜 4時限 | 授業方法 | 講義 |

1. 授業の概要

社会調査データの解析に必要な最小限の内容について、実際の解析例に基づきながら分析していく過程として、調査項目の策定から連関分析、構造分析、信頼性・妥当性の評価を概観し、実際にSASを用いて分析する手順を講義・演習を交えて講義・演習を行う。

2. 授業の到達目標

【一般目標(GIO)】

1. 社会調査のデータ解析を行う際に必要な統計学的解析方法や図表現を行うための基礎を修得する。

【行動目標(SBO)】

1. 社会調査研究で用いる主な統計学的解析手法について説明できる。
2. 社会調査研究の解析で用いる統計モデルについて理解し、実際のデータを用いて解析することができる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1) 講義・演習の課題・レポート(70点)
 - (2) 講義での積極的な参加や発言 (30点)
- 注意) 課題、レポートを再提出または期限に遅れて提出の場合は減点の対象とする。

4. 教科書・テキスト

・適宜資料やデータを配布する。

5. 参考書

- ・調査の実際 不完全なデータから何を読みとるか 林 文・山岡和枝 著(朝倉書店)
- ・社会調査事典 社会調査協会編 丸善出版
- ・国際比較データの解析 意識調査の実践と活用 吉野諒三・林 文・山岡和枝 著(朝倉書店)

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

- ・基礎生物統計学、応用生物統計学を履修済みあるいは同等の能力をもつことを前提とする。
- ・事前資料の配布があった場合には事前に内容を読んでおくこと。グループ討論の場で発表すること。
- ・SASを用いたデータ解析を行うので、その準備をしておくこと。
- ・当該期間に15時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・課題やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを適宜行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

<授業計画>

社会調査データ解析特論

| 回数 | 日付 | 時限 | 担当者 | 授業内容 |
|----|---------|----|-------------|--------------------------|
| 1 | 4/14(火) | 4 | 山岡 和枝 教授(客) | 統計的調査の方法 |
| 2 | 4/21(火) | 4 | 山岡 和枝 教授(客) | 社会調査データの測定と集計、信頼性・妥当性の分析 |
| 3 | 4/28(火) | 4 | 山岡 和枝 教授(客) | 調査票の作り方と構造分析 |
| 4 | 5/12(火) | 4 | 山岡 和枝 教授(客) | 項目の連関分析 |
| 5 | 5/19(火) | 4 | 山岡 和枝 教授(客) | 欠測値の取り扱い |
| 6 | 5/26(火) | 4 | 山岡 和枝 教授(客) | 質問票の構造分析: 林の数量化法 |
| 7 | 6/2(火) | 4 | 堀内 清華 講師(非) | 質問票の構造分析: 主成分分析と因子分析 |
| 8 | 6/9(火) | 4 | 山岡 和枝 教授(客) | 質問票の構造分析: その他の分析法 |